

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉦業振興費

事業名 伝統工芸品デジタル促進等補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 地域産業課 伝統産業振興係 電話番号：058-272-1111(内3782)

E-mail：c11355@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,900 千円 (前年度予算額： 6,900 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	6,900	6,900	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,900	950	0	0	0	0	0	0	950
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

生活様式の変化に伴い、本県の工芸品市場は縮小が続いている。低迷する需要を回復させ、伝統産業の振興を図るためには、各事業者が近年のDX・デジタル化の潮流を戦略的に活用し、ECサイトの構築やSNS等による情報発信、新たな需要獲得に向けた商品開発等に取り組むことが不可欠である。

一方で、伝統産業に携わる製造事業者の多くは中小零細性が強いことから、経費的な制約があり、デジタル化等に向けた対応が十分に進んでいない。

そこで、県内伝統産業の関係事業者が行うデジタル化をはじめとした需要拡大の取組みを支援することで、県が誇る伝統産業の需要回復及び産業活性化を図る。

(2) 事業内容

伝統産業に携わる事業者が行うECサイトの構築、デジタルを利用した情報発信、展示会等出展、自社商品開発等の事業を助成する。

<補助金の概要>

○補助金名：岐阜県伝統工芸品デジタル促進等補助金

○補助対象及び補助率

補助対象：以下の事業に要する経費

補助対象事業	補助対象者	補助率	限度額
伝統産業事業者等が行うECサイトの構築、情報発信、展示会等出展、自社商品開発等	・国が指定する伝統的工芸品の指定組合 ・県が指定する郷土工芸品の指定組合	補助対象経費の2/3以内	上限：1,000円
	・国が指定する伝統的工芸品の指定組合の構成員等 ・県が指定する郷土工芸品の指定組合の構成員等		上限：300千円

(3) 県負担・補助率の考え方

上記のとおり

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	1,900	
合計	1,900	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○「清流の国ぎふ」創生総合戦略

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(2) 次世代を見据えた産業の振興

③ 県内産業の活力の強化と新事業展開の推進

○デジタル・トランスフォーメーション推進計画

10 産業・労働

(4) 上記のほか各産業の特性や動向を踏まえたデジタル技術活用の促進

⑤ 地場産業

(2) 事業主体及びその妥当性

伝統産業事業者が実施する新たな取組みを支援することで、本県が誇る伝統産業の振興を図るものである。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	伝統工芸品デジタル促進等補助金
補助事業者（団体）	国が指定する伝統的工芸品の指定組合及び組合の構成員等又は 県が指定する郷土工芸品の市営組合及び組合の構成員等 （理由） 各事業者等の大半が中小零細であり、販路開拓や需要開拓に取り組むことは大きな負担を伴うため
補助事業の概要	（目的） デジタル等を活用した需要拡大により伝統産業の振興を図る。 （内容） 伝統産業関係事業者が行うECサイトの構築、情報発信、展示会等出展、自社商品開発等を支援する。
補助率・補助単価等	定率 （内容） 補助対象経費の2/3以内 （理由） 補助事業者に一定割合の負担を求めるため。
補助効果	伝統工芸品産業の振興、発展と保護
終期の設定	終期令和6年度 （理由） 「次年度の方向性」参照

(事業目標)

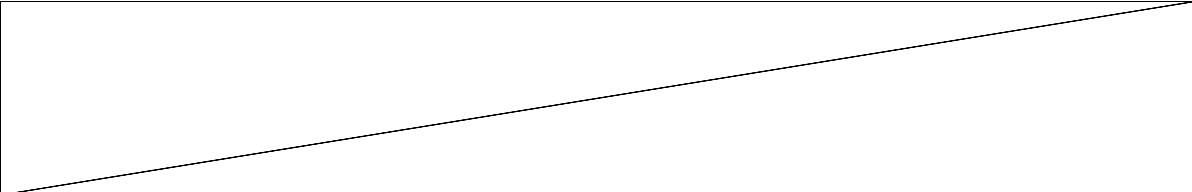
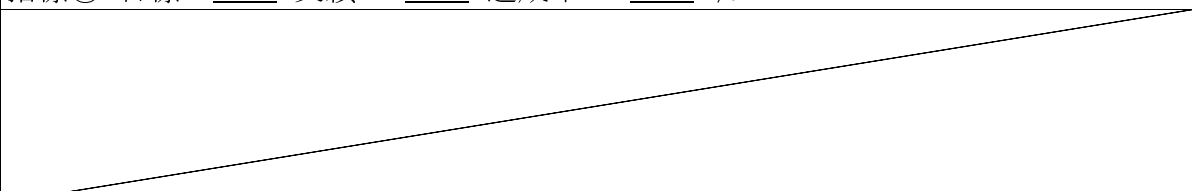
<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか 伝統産業事業者のデジタル化及び需要拡大に向けた取組みを支援し、伝統産業の活性化を図る。</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R3)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R6)	
					達成率	
補助件数	0件	2件	9件	4件	4件	50%

補助金交付実績 (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度
	-	-	914

(これまでの取組内容と成果)

令和 2 年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和 3 年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和 4 年度	既存ECサイトの改修、展示会開催の経費の一部を補助することで産地組合や県内事業者の需要拡大支援を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、申請件数は少なかった。
	指標① 目標： 24件 実績： 2件 達成率： 8 %

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	事業者の大半が中小零細事業者であり、財政基盤がぜい弱であるため継続した業界支援が必要である。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価) 0	コロナ禍による組合活動の停滞(デジタル活用事業への取組みの合意困難化)、イベント開催の不確実化による展示会等への出展見送りにより、申請が少なかった。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	補助金の目的を十分に説明し、随時事業を見直しながら効率的な支援を行っていく。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 人々の生活スタイルや嗜好の変化により、本県の伝統産業の需要は著しく縮小している。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 伝統産業は、現在のモノづくり産業の原点であるとともに、本県の伝統や文化を他県や外国へアピールする象徴であり、失ってはならない本県の貴重な宝であるため、販路</p>

開拓や需要開拓等に係る支援が必要であることから、事業を継続し、終期到来時の情勢等を踏まえ、継続または廃止等を検討する。